

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	番組制作4（演習4）	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名		開設期	後期	
対象年次	2年次		科目区分	必修	時間数	60時間	
単位数	2単位		授業形態	講義・実習			
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	北川 敬一、大関 啓一郎、宮川 佳己			実務経験の有無・職種	有・放送業務		
学習目的							
木曜・金曜の実習授業を円滑に進めるために、座学の時間を活かし、班にわかれて打ち合わせを行う。 撮影に必要なことを決定していくプロセスや他コースの意見を聞き取り、作品をブラッシュアップしていく指導する。 卒業制作の企画概要、企画募集などを、適宜、説明、指導する。							
到達目標							
卒業制作の撮影に備えて、オーディション、キャストとの打合せ、ロケハン、台本の作成方法、カット割りなど、撮影に必須のことを段階的に学び、就職後のことを想像させる。 実習中心になるので、撮影に臨んでの心構え（遅刻・欠席・機材管理・スタッフワーク、報・連・相を徹底する）を、折に触れて指導する。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。就活を視野にいれつつ、卒業制作の班を決める際は、撮影スケジュールを入念に把握しておくようにしてください。						
注意点	この授業ではキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表表 （口頭・実技）	60%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	概要説明			後期実習の撮影スケジュールの説明を通じて全体像の把握に努める。			
2回	中継実習(1)			中継実習の概要説明、参考映像視聴を通じて中継業務を学ぶ			
3回	中継実習(2)			中継実習本番を通して中継業務の経験を積む			
4回	卒業制作			企画立案、班決め、打ち合わせ、リサーチ、台本作成を通して卒業制作の意義を学ぶ			
5回	卒業制作			班行動でグループワークの重要性を学ぶ（本読み・美術打合せなど）			
6回	卒業制作			ロケーション準備を通してロケ業務を学ぶ（カット割り確認、技術打ち合わせ）			
7回	卒業制作			ロケーション本番を通してロケ業務を学ぶ（カット割り確認、技術打ち合わせ）			
8回	卒業制作			スタジオ収録準備で事前作業や準備の必要性を学ぶ。編集、MA作業を期限までに完成させる			
9回	卒業制作			スタジオ収録準備で事前作業や準備の必要性を学ぶ。編集、MA作業を期限までに完成させる			
10回	卒業制作			スタジオ収録準備で事前作業や準備の必要性を学ぶ。編集、MA作業を期限までに完成させる			
11回	卒業制作			セット立て込み、照明吊込み準備を通して、プロの現場を知る。編集、MA作業で作品を完成させる			
12回	卒業制作			セット立て込み、照明吊込み準備を通して、プロの現場を知る。編集、MA作業で作品を完成させる			
13回	卒業制作			セット立て込み、照明吊込み準備を通して、プロの現場を知る。編集、MA作業で作品を完成させる			
14回	卒業制作			セット立て込み、照明吊込み準備を通して、プロの現場を知る。編集、MA作業で作品を完成させる			
15回	卒業制作			レポート提出			